

●ポスターセッション2010 (in帝京平成大学)



●ポスターセッションとして目指すポスター

●視覚的な印象に訴えるポスターではなく、論理的に説明するポスターを目指す

海でやろう。

Please do it at the beach.



① 駆け込み乗車は危険です。おやめください。
Please do not rush into the train as it is dangerous.

すぐ済む用事だから...
身障者用の駐車スペースに
車を停めた。
近くにいた子供が
「このマークってなあに？」
と車イスのマークを
指差した...



気がついたら、
そんな大人に
なっていた。

「近頃の若い奴は...」よく聞くセリフです。
...貴方の行動はどうでしょうか？
未来の子供の心を育てるのは我々大人の責任です！

大人が変われば子供も変わる。

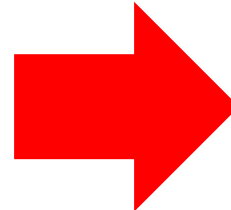
JCF 社団法人 奴奈川青年会議所
© 2008 Naganawa J.C. 本部 101 部員 50名

介護サービスの悩み 話して笑顔に

話してあげてあげたらどう
思ってくれてあげたらどう



ご相談はお気軽に



安全・安心な子ども施設をめざして

～保育園における安全への取り組み～

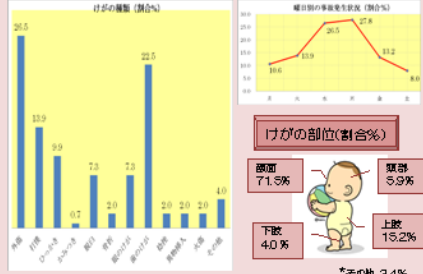
近年、子どもたちを取り巻く環境は目まぐるしく変化し、子どもたちを守るための課題や取り組みも多種多様化しています。このような状況下でも、保育園では常に、けがや事故、感染症などの疾病、食事や環境の安全に配慮して保育を行なっています。ここでは、保育園の「けが・事故」「新型インフルエンザ」のデータを中心に、保育園の安全への取り組みをお知らせします。

けが・事故

保育園での事故発生状況
保育園における「けがや事故」で多いのは

- ① 乳児（0～2歳）に比べ幼児（3～5歳）
- ② 男児
- ③ 保育室および園庭
- ④ 晴れの日
- ⑤ 年間では10月
- ⑥ 外傷・歯のけが・打撲

となっています。けがや事故には「運動能力や知能の発達に伴い、その年齢なりの特徴」があります。園では発達に沿った保育で子どもたちの笑顔を守っています。
※区立保育園園長協会 平成20年度調査



食の安全

心と体を育てるための食事。
安全な食品 衛生面に配慮し「安全でおいしい給食」を安心して食べてもらうことが大切です。

子どもたちの笑顔を守るために

子どもを取り巻く環境の安全

小さい子どもたちが過ごす場所。保育園での経験が、成長に大きくつながるので安全管理は不可欠です。

心身のバランス

たくさんの愛情の中で、心と体が共にバランスを保ちつつ大きくなるのが理想です。

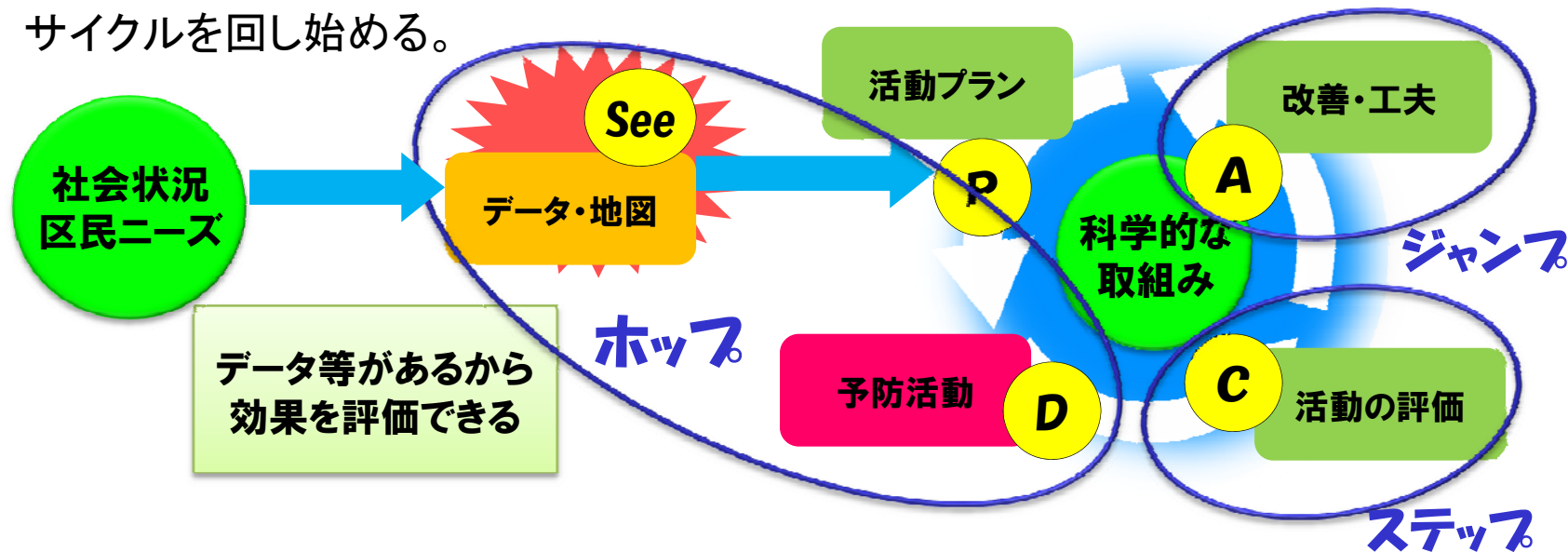
病気・感染症

新型インフルエンザ

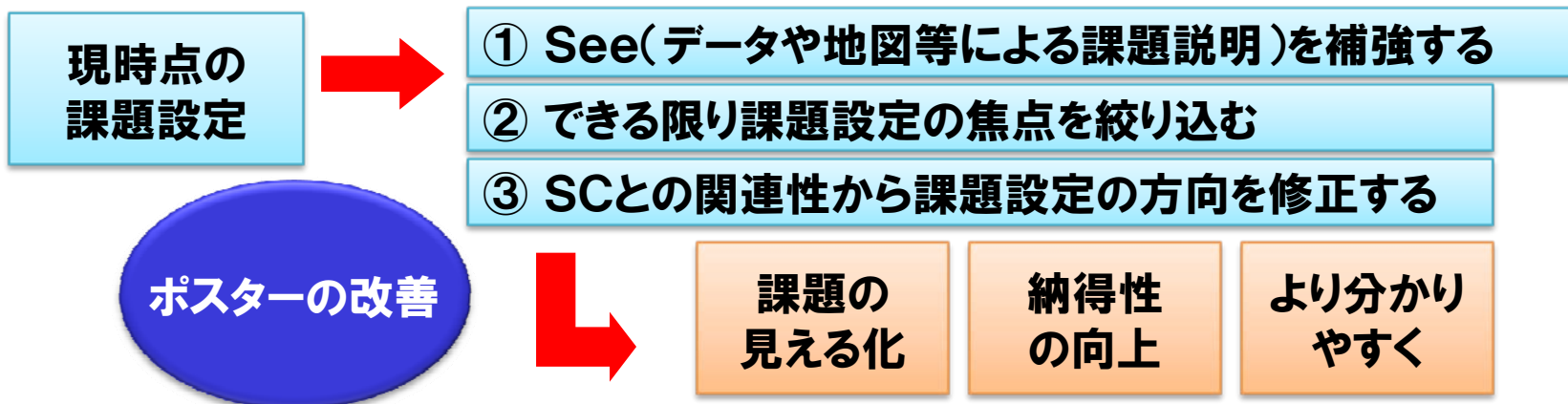
感染状況
世界的に流行した「新型インフルエンザ」
平成21年度の保育園での感染状況は、鎌倉区・東京都の感染推移とほぼ同じ形であり、社会状況が反映されています。休園せずに、小さい子どもたちの重症化や感染拡大を防ぐには、
① 発生前の園や保護者への情報提供、健康観察 ② 発生後の園内消毒、保護者との協力による徹底した健康管理
など、多くの努力と協力がありました。《保育園課 調査》

●論理的ポスターに向けた共通認識と軌道修正

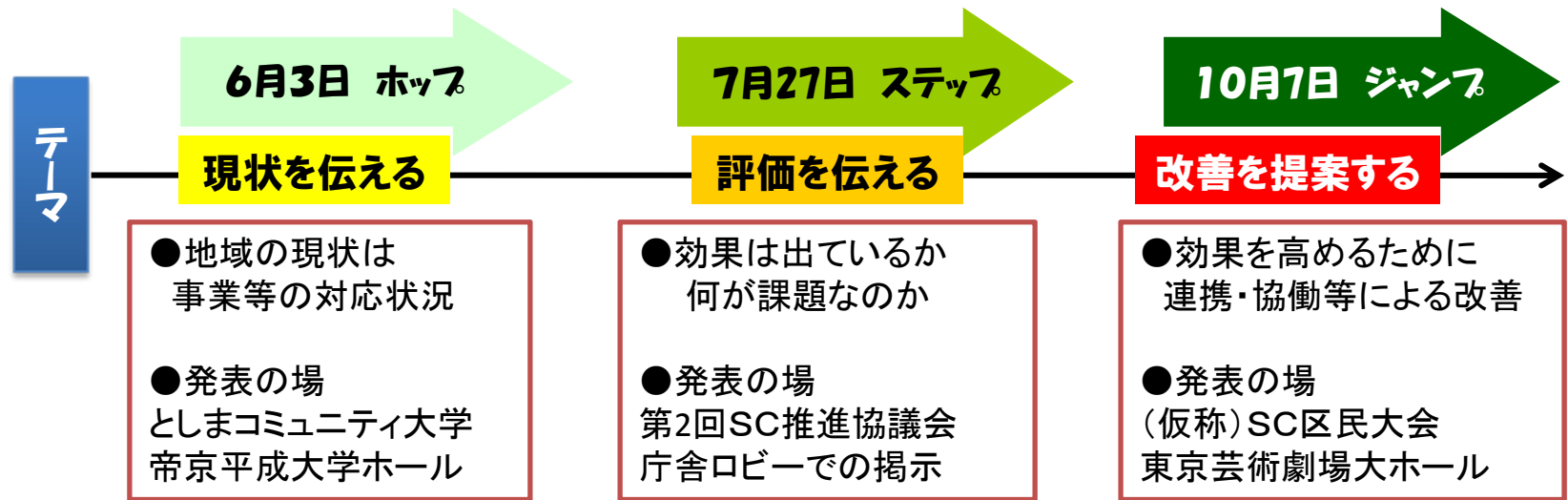
- See(データの収集・分析)から始めて、P(計画)、D(実施)、C(評価)、A(見直し)サイクルを回し始める。



- ステップに向かう前に、まず、ホップの内容を改善してから、ステップに進む。



●軌道修正により、進行の度合いを柔軟に



●7月時点で改めて「ホップ」としての精査を行うかたちも可としました。

